

平成 25 年度 第一回技術委員会 議事録

記録 事務局 大内 丞

【日程】平成 25 年 6 月 18 日 PM 1:00 ~ 20 日 PM 4:00

【場所】(初日)AP東京八重洲通り

(二日目)八重洲スペース TOKU B 会議室

(三日目)浜松町トラストスペース 8 階会議室

【参加者】

(初日の全国大会は省略)

■阿部輝男(委員長:東北) ■本山博司(副委員長:北海道) ■橋元宣明(副委員長:関東)

■桐尾美知宏(北海道) ■安彦達見(東北) ■伊藤淳(東北)

■野田剛太郎(関東) ■小島展人(関東) ■中田文士(関東)

■小西由哲(近畿) ■田上明人(近畿) ■石垣孝行(中四国)

■竹廣潔(中四国) ■山本友洋(中四国) □佐々木幹浩(九州)

■飯森幹夫(九州) ■大内丞(事務局) ■馬場社長(技術顧問)(二日目)

以下、オブザーバー参加二日目のみ

■一氏昭吉(大阪府 GIS 官民連絡協議会 GIS 支援グループ)

■碓井理事長 ■宮島専務理事 ■佐野副理事長

■石田理事 ■實田社長 ■横山部長(MAPCOM)

※敬称略 (■:出席, □:欠席)

【1】全国大会

初日は全国大会へ参加し、今年度の活動に関する基本情報を収集した。

----- 二日目、三日目 -----

【2】委員長挨拶

今年度活動の方針を説明

【3】馬場社長から情報提供(PPT に沿って)

- 《電子国土》OpenLayers、OpenScales などの技術価値。KML の配信について。
- 《地物 ID》更新を繰り返すとどんどん分割される。DM の間断処理問題。
- 《PcMapping》新機能、裏機能の解説

【4】碓井理事長挨拶(各委員へのエール)

- 基盤地図情報の更新は、社会的な使命がある。
- 皆さんの力に懸っている。製品仕様書の重要性などが地域に浸透していない。
- ひとえに技術力。その先立ちとなって、地域で進めてほしい。
- GISA でも基盤地図のスパイラルアップがテーマになっている。是非よろしくお願いします。
- GIS の先端技術者が参画している。技術力をベースでやって下さい。

【5】宮島理事挨拶

- GIS 産業論をまとめるにあたって、使命がある。
- 現場をわかっている一氏氏のような担当者が育たなければならない。
- 地元の自治体担当者に若くやる気がある人材が勉強できる場が必要。
- 地方に GIS 産業を根付かせる事に協力してください。営業的な支援をよろしく。

【6】一氏昭吉による、講義

- 全国大会講演の「地物 ID の付与と基盤地図情報のスパイラルアップ」について、現場担当者の経験における問題点や考え方について、具体的な話をいただいた。
- 全員でディスカッション。

【7】営業企画活動について意見交換

- MAPCOM 横山部長に参加していただき、経験談とディスカッション。
 - 県、市町村の補助金事業などの情報(GIS 関連業務)発注情報の調査。霞が関情報や予算の積み上げを積算している財団からの情報収集が必要。
 - 自治体のクラウド風潮。個々の GIS なのかクラウド管理なのか。シンクライアント化なのか。今後の戦略としてどのような提案があるのか。
 - 地方にいてどのように情報を集めるかがポイント。
 - 全測連の成果検定。測技協の JPGIS 資格認定。そのような活動は考えられないか。
 - 技術提案書の書き方。企画書のひな形。個人の資格については、積極的に進める。
 - 会に発信する事が前提だが、難しい。提案書を作る。ひな形を作るのではなく、実践でやる。
 - 情報収集から始めて、ターゲットを作成する。
- 次の通り、活動内容を決定した。
 - 各省庁の案件を絞り込む。(班分けし、分担作業を実施)
 - 未作業分を宿題で持ち帰り、ネットで調べてみて、野田委員に集約する。
 - 6 月中にメーリングリストに送信する。
 - 野田委員と中田委員で詳細検討。
 - 行政窓口へ訪問し、ヒアリングする。7 月を目途に実施する。宮島さんに協力依頼を打診。
 - 訪問の感触を配信する。結果報告をする。
 - 各自が担当した案件で、教えられる範囲で補助メニューを教えてください。担当の本山副委員長に報告すること。
 - 名刺を用意する。7 月中頃までに準備する。野田委員と中田委員分を急ぐ。

【8】技術研究のテーマを意見交換

以下に絞って勧める事にした。

- モバイル端末と場所コード
 - 電子国土を使えば、プラットフォームによらない。
 - 端末を使って、配信するのはハードル高い。Windows タブレットで PcMapping 利用の範囲に絞る。
 - 「AR」等を使ったアイデアを募って、小西委員が作る。アイデア、データがあれば、小西委員へ送る。
 - 小西委員が AR を利用した何かを作る。サンプルを公開する。100 台ライセンスを会で購入するか検討。iOS。アンドロイドも次の段階として考える。
 - その他、PcMapping のコンテンツを各自研究し、次年度のテーマとしてつなげられるか検討する。
- 電子国土 Web.NEXT 寒川方式
 - 橋元副委員長がまとめる。

- その他の研究素材として
 - 屋内測量
 - OpenScales
 - クラウド

【9】 GIS 上級資格更新について

- 石垣委員が資格更新手続きを完了した。その際の資料について、レクチャーがあった。
- 縦断セミナーと地域セミナーを同じ申請で5年間出来るようにする。GISAの事務局に相談する。

【10】 WEB 配信について

各地で実施するセミナー、講演などを Web 配信する技術を研究する。将来の実施を前提として。これまでの成果について、説明。

- 色々な方法を検証したが、全て回線状態に依存する事が分かった。
- 取りあえず、各支部で持ち回り、実証実験を行う。
- 準備時間は最低1時間確保してください。

【11】 その他

- 会議環境として、SKYPEの新バージョンを検証。
新しいメンバーは、アカウントを登録して、メーリングリストへ連絡してください。

【12】 次回のスケジュール

- 10月24,25,26を候補日とする。
- 場所は広島。
- 当地の支部と技術交流を実施する事が前提。段取りは中四国の委員で検討。

以上